

令和4年(2022年)11月 花き部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2022年11月 数 量	2022年11月 平均単価 (円)	前年同月 比 数 量	前年同月 比 平均単価
1	切花	キ ク	愛知県、長崎県が主要産地です。数量はやや減少しました。平均単価はかなり安く推移しました。	685,843	53	95%	79%
2		小 菊	沖縄県が主要産地です。数量は前年並みで推移しました。平均単価は安く推移しました。	109,330	27	99%	76%
3		バ ラ	群馬県、岡山県が主要産地です。作柄が良くなく、数量は減少しました。平均単価はやや安く推移しました。	100,846	88	88%	96%
4		カーネーション	千葉県、コロンビアが主要産地です。数量はかなり減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	343,090	50	79%	105%
5		鉄砲ゆり	宮崎県が主要産地です。生産量が減少し、数量は減少しました。平均単価は高く推移しました。	2,133	159	87%	111%
6	鉢物	シクラメン	神奈川県、愛知県が主要産地です。大鉢サイズの入荷が伸びず、数量は減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	25,754	373	86%	109%
7							
8							

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
 ②やや増加(減少):(+-)3~10%
 ③増加(減少):(+-)11~20%
 ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
 ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上